

地域の課題

① 搬出間伐・列状間伐の普及推進

地域の一般民有林では切捨間伐が8割で搬出間伐が進んでおらず、列状間伐の取組も1割と低い(※)。森林所有者が、搬出間伐と列状間伐を理解し定着する取組が引き続き必要。

※H27年度公共補助の事業

② 木質バイオマス資源の需要

日高南部地域での木質バイオマス関連工場の稼働。道内の木質バイオマス発電等への原料の安定的な供給が必要。

③ 民国連携した集約化施策に向けて

民有林と国有林が効率的に間伐等の森林整備を推進していくために、相互に連携した路網配置の検討が必要。

実施事項

① 搬出間伐・列状間伐の普及

○森林施業現地検討会の開催

【目的】

高性能林業機械と路網整備を組合せた列状間伐の技術・知識を高め、森林所有者や森林組合にメリットを理解し不安等を払拭してもらい、低コストな列状間伐の普及・定着を図ることにより、搬出間伐が促進されることを目的に、国有林と民有林の2箇所で開催した現地検討会を実施。

【内容】

- ・現地では、伐採・搬出の作業方法、列状伐採列の設定と伐採幅など低コスト作業システム、森林作業道の路面排水処理対策について意見交換を実施。
- ・室内の座学においては、一般民有林の作業道等を電子データ化し、持続的に利用できる取組や、国有林の持続的に利用できる森林作業道の作設技術など、民有林と国有林の路網整備・管理の比較検討を意見交換。

② 木質バイオマス資源の供給

- ・国有林に散在している林地未利用材の情報を取りまとめ、局のホームページに「造材端材発生見込情報」「林地未利用材発生情報」として公表。
- ・日高振興局(森林室)と連携し、林道沿線の日陰木について双方で資源化。

③ 民国連携した集約化施策に向けて

○路網情報作成研修会の開催

- ・日高地域の民有林・国有林の森林情報を、GPS機器などを活用し民国共通して利用できる図面の作成等を行うため意見交換を実施。

平成28年度の取組



成果

① 検討会での意見交換

- ・高性能林業機械と路網を組み合わせた効率的な作業システムの採用を検討したい。
- ・民有林の所有形態は小規模、分散しており、林分形態等を考慮し施業箇所の団地化を検討している。
- ・2回目以降の間伐(列状、定性)も想定した、伐採方法の検討が必要。
- ・急傾斜地等の路網作設は特に排水処理がポイント等
- ・森林施業後、作業道等の路線を国有林では記録整理しているが、多くの民有林では行われていない。

等の積極的な意見が多く出され、列状間伐への理解が普及した。

② 資源の供給

林地未利用材の発生情報を3件公表、林道沿線の通行等の支障となる立木(78m³)などで207m³を供給することが出来、新たな資源化への検討に寄与。

③ 研修会での意見交換

民有林と国有林の路網情報を一つの地図に載せることによって、相互に利用可能な路網の検討の促進につながった。

搬出間伐・列状間伐を進める上での課題

- ・高性能林業機械と低コスト作業システムを活用した事業の評価・分析
- ・スケールメリットが生まれるような民有林での施業団地化

- ・森林所有者等への搬出間伐と列状間伐の優位性の理解促進
- ・森林所有者等の列状間伐に対する不安感の払拭
- ・森林所有者の森林整備への意識の向上

今後に向けて

林業の低コスト化と資源の有効利用の取組は、森林整備を進めていくために重要であることを踏まえ、森林所有者や行政機関を交え列状間伐の優位性を示し、低コスト施業と搬出間伐の拡大に向け取り組んでいく。